かどのうら　でんらい　えまく

# 門之浦伝来絵幕

鹿児島県指定有形文化財（美術工芸品　絵画）

令和３年４月23日指定

知覧

頴娃

南九州市知覧町南部の海に面した門之浦に伝わったものです。長さ10メートルほどの絵巻物で，地引網や相撲，流鏑馬，犬追物，牛若丸と弁慶，源頼朝の富士巻狩りなど15の場面が描かれています。放射性炭素年代測定の結果，15世紀後半から17世紀初頭の戦国時代ごろに描かれたものと考えられます。

由来等は不明ですが，南九州市頴娃町南部の水成川の平峰家にも江戸時代に描かれた同様の絵巻物が伝わっています。平峰家では，氏神まつりの際に，壁にかけ，神舞を奉納していたとされ，お面など多くの祭式道具も伝わっています。

神事の際に壁にかけて用いる例は，全国的にも珍しい使用形態であることから，「絵幕」という造語を用いています。絵幕に描かれた中世武士の生活実態だけでなく，かつて南薩地域で行われていた信仰実態がうかがえる貴重な資料です。